

★「赤い羽根」から「子どもゆめ基金」まで「助成金特集」！ **第28号**

選ばれると共同募金の仕組み活用して幅広い協力が得られる！ 「地域課題解決型募金・エントリー団体募集」は4月1日から。

「赤い羽根」でおなじみ「福島県共同募金会」の「地域課題解決を応援する」新しい仕組みです

・昨年に続き2回目の紹介です。私たちになじみの深い「赤い羽根」ですが「福島県共同募金会」が実施している「地域課題解決型募金」の「エントリー団体募集」は今年、4月1日から始まります。去年より1ヶ月前倒ししての募集です。この募金は「地域課題を解決するべく立ち上がった団体」を「赤い羽根共同募金の仕組みを活用して寄付金を集めて応援する」プログラム。地域の市民団体やNPOは、この仕組みを活用して自分たちの活動を広く訴えることができますし、市民としては「活動の趣旨に賛同した団体に、共同募金を通して直接寄付応援できる」とことになります。「赤い羽根」を通して、「地域課題を解決しようという団体」と、「これを応援しようという市民」を結び付けることで「自分の町をよくしよう」という仕組みになっているのです。思い切ってチャレンジしてみませんか？

応募は4月1日～5月31日の募集期間中に！ 「応募用紙」と「事業計画書」を作成し郵送で！

・「地域課題解決型募金・募集」にエントリーするには市民団体として次の「4つの要件」が必要です。

- ①課題解決の必要性を広く県民に訴え、共同募金の一環として募金の呼びかけができること。
- ②団体の運営が、自主性、非営利、公開を原則としていること。
- ③会則（運営要項、規約、定款）、事業報告書・決算書、事業計画書・予算書等が整備されていること。
- ④団体名義の金融機関預金口座を開設していること。

・その上で「福島県共同募金会」のHPから「応募用紙」と「事業計画書」をダウンロードして作成し「必要添付書類（会則や事業報告書、事業計画書等）」を添え「郵送」で申し込むことになります。

・対象事業の実施時期は「2020年4月1日～2021年3月31日」ですし、共同募金の募金活動期間は「2020年1月1日～3月31日」と、どちらも来年になりますから留意してください。

・エントリーして選ばれれば、その団体に寄せられた寄付額はむろん全額配分されますが、ユニークなのは右の表のように「募金寄付額」ごとに「配分額」があり、参加団体のインセンティブになっていることです。

下の写真は30年度の「地域課題解決型募金チラシ」！
寄付受付期間は31年1月～3月、3月末が締切です！



・「赤い羽根」というと、歳末助け合いをすぐイメージしますが、全国の共同募金会では平成28年度から、1月～3月を募金活動期間とする新しい仕組みに取り組んできました。「福島県共同募金会」の取り組みはここにご紹介する「地域課題解決型募金」でした。

・従来の募金と違う点は「エントリー団体」を募り、その団体が主体的に募金活動を展開し、寄付をする市民は、その活動の中から共感する団体を選んで寄付をする点にあります。新しい寄付のスタイルにつながるというですね。

・上の写真は去年のチラシの表紙。中面には左のように、エントリーした団体（去年はNPO法人3団体でした）のプロフィールや事業内容が詳しく紹介されています。

・市民はこれよく読み、共感できる団体を選び寄付をすることになります。その上に切り抜きで載せたのは2019年度の「エントリー団体募集のチラシ」。ここでは、エントリーされ募金活動をした実績によっては「最大20万円」の加算があると明示されています。詳細は支援センターにお尋ね、ご相談ください。

「募金寄付額」と「配分額」	
「募金寄付額」	「配分額」
～1万円未満の場合	実際に寄せられた募金寄付額を配分
1万円～5万円未満の場合	実際に寄せられた募金寄付額 プラス2万円を配分
5万円～40万円未満の場合	実際に寄せられた募金寄付額 ×150%を配分
40万円以上の場合	実際に寄せられた募金寄付額 プラス20万円を配分

「100万円を1団体」「30万円を6団体」に助成する東北電力の「東北・新潟の活性化応援プログラム」締切は5月20日！

「地域産業の振興」、「地域コミュニティの再生・活性化」さらには「交流人口の拡大」が対象！

・東北6県と新潟県の地域活性化を応援しているのが東北電力の「東北・新潟の活性化応援プログラム」です。東北7県に呼びかけ、応募のあった中から「各県1団体」を選び助成をしています。2019年の募集は3月18日にすでに始まっており、5月20日が最終締め切りです。

・支援内容は「特別助成金（1団体）100万円」「助成金（6団体）30万円」が今年も予定されています（ちなみに2018年福島県からは喜多方市の「NPO法人喜多方市民活動サポートネットワーク」が助成団体の1つに選ばれています）。

・審査対象となる活動にはテーマとして「地域産業の振興」「地域コミュニティの再生・活性化」「交流人口の拡大」が挙げられています。詳しくは、東北電力のホームページから「申請書」をダウンロードしてご検討ください。なお「添付資料」として「会員名簿」や「年度決算書（収支報告書）」が「必須」となっていますので留意してください。

「子どもゆめ基金2次募集」は5月1日受付開始！市区町村規模の活動に「50万円」が助成限度！

・子どもの支援活動をしている市民団体に見逃せないのが「子どもゆめ基金」の助成です。第1次募集は終了していますが第2次募集（活動規模を市区町村規模に限定）の受付が5月1日から始まります（郵送申請6月4日締切、電子申請6月18日締切）。助成対象になる活動は大きく「体験活動」「読書活動」の2つに分かれ、さらに「体験活動」は「6分野」に分かれています（右の案内チラシキャプション参照）。

・助成対象の活動期間は2019年10月1日～2020年3月末日です。夏場の体験活動は対象になりませんが、これから新年度の事業計画を作成する市民団体にとっても、まだ申請が間に合う助成金です。

すでに応募受付が始まっている「活性化応援プログラム」支援は「東北6県+新潟県」の各県1団体で合計7団体！

その情熱に、エールを込めて。

助成金で
バックアップ！

2019年

東北電力「東北・新潟の活性化応援プログラム」 応募要項



子どもゆめ基金の助成対象活動

- ◆体験活動の分野：①自然体験活動＝自然に触れ親しむ活動。②科学体験活動＝理科や科学に触れ親しむ活動。③交流を目的とする活動＝異年齢、異世代、地域間交流を深める活動。④社会奉仕体験活動＝社会に積極的に関わる活動。⑤職場体験活動＝地域事業所や商店での職業体験。⑥総合・その他の体験活動。

◆読書活動＝本に親しむ活動。

*詳細はHPで確認してください。

「年度更新」「事業計画」「助成金応募」等、市民活動のご相談はお気軽に「支援センター」へ。

・3月～4月は市民団体や地域団体にとって年度更新時期。事業計画をどうするか財源はどうするか等気になります。そんな時は「支援センター」に一度ご相談ください。NPO法人や地域自治組織の設立稼働をサポートしてきたキャリアを生かし、一緒に解決策を探します。今回ご紹介した「助成金」の他にも助成金情報は各種届いています。「自分たちにふさわしい助成金はないか」等々、知りたい事、気になる事を、お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。

伊達市市民活動支援センター

電話番号：024-583-2800 FAX：024-583-2820

○開館：毎週・月～土曜（日曜休館）

午前9時～午後6時

伊達ふれあいセンター3階まで

